

平成29年度 遠別町各会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

- (1) 平成29年度 遠別町一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成29年度 遠別町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成29年度 遠別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成29年度 遠別町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成29年度 遠別町下水道特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成29年度 遠別町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (7) 地方自治法241条第5項の適用を受けない特定目的基金
 - ① 公共施設等整備基金
 - ② 減債基金
 - ③ ふるさと創生基金
 - ④ 地域振興基金
 - ⑤ 国保給付調整基金
 - ⑥ 介護保険給付費等準備基金
 - ⑦ まちづくり応援基金
 - ⑧ 遠別町・キャッスルガー市国際交流基金

2 審査の期間

平成30年7月23日から8月3日まで（7月25日、8月1日及び土・日を除く8日間）

3 審査の方法

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書並びに基金運用状況を示す書類について、関係諸帳簿、証書類及び各課から提出された資料と照合し、併せて関係職員の説明を求め、計数の正確性、予算執行及び基金運用上の適否等について審査した。

4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、関係法令に基づき調製されており、その計数は正確であると認めた。

また、各基金の計数も正確であり、適切に運用されていると認めた。

5 各会計に対する審査結果と意見

I 一般会計

【1】 財政の推移

平成29年度における一般会計決算額は、歳入総額4,645,549,275円、歳出総額4,606,213,315円、差引39,335,960円となり、その処理内容は基金繰入金19,235,960円、翌年度に繰越すべき財源17,100,000円、翌年度繰越額3,000,000円となっている。
なお、過去5ヶ年の決算状況は次表のとおりである。

区分 年度	歳入決算額 (A)		歳出決算額 (B)		収支差引額 (A) - (B)	
	金額	収納率(%)	金額	執行率(%)	前年対比(%)	前年対比(%)
25	4,163,262,415	99.6	4,105,855,402	98.5	100.5	57,407,013
26	3,921,935,394	99.7	3,835,614,363	95.0	93.4	86,321,031
27	4,127,025,881	99.7	4,013,440,365	84.5	104.6	113,585,516
28	4,882,988,061	99.7	4,791,117,597	91.6	119.4	91,870,464
29	4,645,549,275	99.8	4,606,213,315	96.1	96.1	39,335,960

(単位:円)

【2】 財政収支の状況

平成29年度の実質収支は22,236千円であり、前年度実質収支71,870千円と比較すると、単年度収支は 49,634千円減となる。
実質単年度収支は次表のとおり、本年度は△341,984千円である。

区分 年度	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	形式収支 (A)-(B)=(C)	翌年度繰越財源 (D)	実質収支 (C)-(D)=(E)	前年度実質収支 (F)	単年度収支 (E)-(F)=(G)	積立金 (H)	繰上償還金 (I)	積立金取り崩し額 (J)	実質単年度収支 (G)+(H)+(I)-(J)
	25	4,163,262	4,105,855	57,407	487	56,920	64,818	△ 7,898	7,996	105,905	0
26	3,921,935	3,835,614	86,321	21,135	65,186	56,920	8,266	4,392	70,630	31,903	51,385
27	4,127,026	4,013,440	113,586	9,125	104,461	65,186	39,275	62,300	0	0	101,575
28	4,882,988	4,791,118	91,870	20,000	71,870	104,461	△ 32,591	4,236	65,208	0	36,853
29	4,645,549	4,606,213	39,336	17,100	22,236	71,870	△ 49,634	7,650	0	300,000	△ 341,984

(単位:千円)

第1歳入

(1) 収入状況

平成29年度歳入予算額4,791,636,000円に対し、調定額4,656,536,280円、収入済額4,645,549,275円、不納欠損額6,115,320円、収入未済額4,871,685円と
なっており、収入率は調定額に対して99.8%(前年度 99.7%)である。

なお、各款別における収入状況は次表のとおりである。

款		予 算 現 額	調 定 額 (A)	収 入 済 額 (B)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (B/A×100)
1	町 税	295,621,000	308,356,709	299,085,088	6,091,820	3,179,801	97.0
	町 民 税	144,091,000	148,983,329	146,835,110	1,638,420	509,799	98.6
	固 定 資 産 税	110,862,000	118,983,901	111,860,499	4,453,400	2,670,002	94.0
	そ の 他	40,668,000	40,389,479	40,389,479	0	0	100.0
2	地 方 譲 与 税	52,253,000	52,253,000	52,253,000	0	0	100.0
3	利 子 割 交 付 金	511,000	511,000	511,000	0	0	100.0
4	配 当 割 交 付 金	733,000	733,000	733,000	0	0	100.0
5	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	749,000	749,000	749,000	0	0	100.0
6	地 方 消 費 税 交 付 金	55,607,000	55,607,000	55,607,000	0	0	100.0
7	自 動 車 取 得 税 交 付 金	12,959,000	12,959,000	12,959,000	0	0	100.0
8	地 方 特 例 交 付 金	349,000	349,000	349,000	0	0	100.0
9	地 方 交 付 税	2,307,773,000	2,307,773,000	2,307,773,000	0	0	100.0
10	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	0	0	0	0	0	0.0
11	分 担 金 及 び 負 担 金	34,464,000	35,009,569	33,626,055	23,500	1,360,014	96.0
12	使 用 料 及 び 手 数 料	81,690,000	78,861,664	78,529,794	0	331,870	99.6
13	国 庫 支 出 金	355,102,000	338,871,592	338,871,592	0	0	100.0
14	道 支 出 金	298,231,000	258,058,113	258,058,113	0	0	100.0
15	財 産 収 入	7,993,000	8,130,649	8,130,649	0	0	100.0
16	寄 附 金	154,028,000	154,027,871	154,027,871	0	0	100.0
17	繰 入 金	574,452,000	497,347,940	497,347,940	0	0	100.0
18	繰 越 金	23,000,000	23,000,000	23,000,000	0	0	100.0
19	諸 収 入	102,329,000	101,146,173	101,146,173	0	0	100.0
20	債 償	433,792,000	422,792,000	422,792,000	0	0	100.0
	合 計	4,791,636,000	4,656,536,280	4,645,549,275	6,115,320	4,871,685	99.8

(単位:円、%)

(2) 財源の構成
 財源内訳は、自主財源1,194,893,570円で25.7%(前年度 15.7%)、依存財源3,450,655,705円で74.3%(前年度 84.3%)となっており、分析は次表のとおりである。

年度 区分	科 目	平成 29 年 度 (A)			平成 28 年 度 (B)			比 率 (A/B×100)
		金 額	自主、依存財源に 対する割合 (%)	総額に対する割合 (%)	金 額	自主、依存財源に 対する割合 (%)	総額に対する割合 (%)	
自 主 財 源	町 税	299,085,088	25.0	6.4	283,330,231	36.9	5.8	105.6
	分担金及び負担金	33,626,055	2.8	0.7	47,535,954	6.2	1.0	70.7
	使用料及び手数料	78,529,794	6.6	1.7	76,131,571	9.9	1.6	103.2
	財産収入	8,130,649	0.7	0.2	6,235,509	0.8	0.1	130.4
	寄附金	154,027,871	12.9	3.3	132,021,194	17.2	2.7	116.7
	繰入金	497,347,940	41.6	10.7	158,675,953	20.6	3.2	313.4
	繰越金	23,000,000	1.9	0.5	12,125,000	1.6	0.2	189.7
	諸収入	101,146,173	8.5	2.2	52,378,839	6.8	1.1	193.1
	計	1,194,893,570	100.0	25.7	768,434,251	100.0	15.7	155.5
	依 存 財 源	地方譲与税	52,253,000	1.5	1.1	52,520,000	1.3	1.1
利子割交付金		511,000	0.0	0.0	281,000	0.0	0.0	181.9
配当割交付金		733,000	0.0	0.0	522,000	0.0	0.0	140.4
株式等譲渡所得割交付金		749,000	0.0	0.0	315,000	0.0	0.0	237.8
地方消費税交付金		55,607,000	1.6	1.2	53,480,000	1.3	1.1	104.0
自動車取得税交付金		12,959,000	0.4	0.3	8,870,000	0.2	0.2	146.1
地方特例交付金		349,000	0.0	0.0	402,000	0.0	0.0	86.8
地方交付税		2,307,773,000	66.9	49.7	2,417,846,000	58.8	49.5	95.4
交通安全対策特別交付金		0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
国庫支出金		338,871,592	9.8	7.3	346,516,466	8.4	7.1	97.8
道支 出 金	258,058,113	7.5	5.6	541,531,344	13.2	11.1	47.7	
町 債	422,792,000	12.3	9.1	692,270,000	16.8	14.2	61.1	
計	3,450,655,705	100.0	74.3	4,114,553,810	100.0	84.3	83.9	
歳 入 合 計	4,645,549,275		100.0	4,882,988,061		100.0	95.1	

(3) 歳入決算の概要

歳入決算額を町税と町税外に分けると次表のとおりである。

なお、町税の滞納繰越額は、町民税509,799円、固定資産税2,670,002円であり、当該年度における不納欠損処理額は6,091,820円である。滞納繰越については、前年度と比較すると減少しているが、引き続き、税負担の公平の原則等から徴収には更に最善の努力をされたい。

区分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	収入率		前年度収入率
						予算対 (C/A×100)	調定対 (C/B×100)	
町税	295,621,000	308,356,709	299,085,088	6,091,820	3,179,801	101.2	97.0	96.5
町税外	4,496,015,000	4,348,179,571	4,346,464,187	23,500	1,691,884	96.7	99.9	99.9
計	4,791,636,000	4,656,536,280	4,645,549,275	6,115,320	4,871,685	97.0	99.8	99.7

(単位:円、%)

第2歳出

(1) 予算執行状況

平成29年度の歳出決算は、予算額4,791,636,000円に対し、支出済額4,606,213,315円である。予算額に対する執行率は96.1%(前年度91.6%)で、各款別における予算執行状況は次表のとおりである。

款	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B/A×100)	
1 議会	費	40,937,000	40,403,813	0	533,187	98.7
2 総務	費	1,420,559,000	1,390,476,832	0	30,082,168	97.9
3 民生	費	730,562,000	714,029,734	0	16,532,266	97.7
4 衛生	費	282,808,000	276,255,842	0	6,552,158	97.7
5 労働	費	537,000	479,305	0	57,695	89.3
6 農林水産業	費	342,111,000	274,261,564	51,000,000	16,849,436	80.2
7 商工	費	155,862,000	154,762,665	0	1,099,335	99.3
8 土木	費	623,147,000	574,194,725	34,749,000	14,203,275	92.1
9 消防	費	104,203,000	103,536,459	0	666,541	99.4
10 教育	費	373,614,000	363,726,360	0	9,887,640	97.4
11 災害復旧	費	20,974,000	20,044,400	0	929,600	95.6
12 公債	費	466,367,000	466,086,616	0	280,384	99.9
13 諸支出金	費	227,955,000	227,955,000	0	0	100.0
14 予備費	費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0
歳出合計		4,791,636,000	4,606,213,315	85,749,000	99,673,685	96.1

(単位:円、%)

(2) 性質別支出の動向

歳出決算を義務的経費と投資的経費に分類すると、義務的経費の支出は全体の53.4%(前年度56.4%)で、前年対比3.0ポイント減少している。投資的経費の支出は18.8%(前年度21.5%)で、前年対比2.7ポイント減となっている。また、経常収支比率においては77.8%(前年度76.4%)で前年度比1.4ポイント増となっている。

なお、性質別歳出における過去5ヶ年の内容は次表のとおりである。

(単位:千円、%)

性質区分	年 度	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度(A)		平成29年度(B)		対前年比 (B/A×100)
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	
義務的経費	人 件 費	645,559	15.7	616,102	16.1	594,476	14.8	596,512	12.5	605,616	13.2	101.5
	物 件 費	433,580	10.5	496,553	12.9	547,531	13.6	584,189	12.2	582,627	12.7	99.7
	維持補修費	105,300	2.6	103,024	2.7	126,923	3.2	112,426	2.3	199,245	4.3	177.2
	扶 助 費	187,776	4.6	199,089	5.2	198,074	4.9	219,519	4.6	213,762	4.6	97.4
	補 助 費	959,879	23.4	876,569	22.9	804,514	20.1	1,189,885	24.8	856,757	18.6	72.0
投資的経費	小 計	2,332,094	56.8	2,291,337	59.8	2,271,518	56.6	2,702,531	56.4	2,458,007	53.4	91.0
	普通建設事業費	545,293	13.3	585,687	15.3	510,992	12.8	1,017,264	21.3	846,347	18.4	83.2
	災害復旧事業費	505	0.0	20,186	0.5	37,319	0.9	11,367	0.2	20,044	0.4	176.3
そ の 他	小 計	545,798	13.3	605,873	15.8	548,311	13.7	1,028,631	21.5	866,391	18.8	84.2
	公 債 費	579,180	14.1	486,257	12.7	415,170	10.3	519,602	10.8	466,087	10.1	89.7
	積 立 金	173,049	4.2	12,994	0.3	254,774	6.4	136,782	2.9	450,054	9.8	329.0
	投資及び出資金・貸付金	34,056	0.8	53,146	1.4	20,840	0.5	20,000	0.4	20,000	0.4	100.0
	繰 出 金	441,678	10.8	386,007	10.1	502,827	12.5	383,572	8.0	345,674	7.5	90.1
合 計	小 計	1,227,963	29.9	938,404	24.4	1,193,611	29.7	1,059,956	22.1	1,281,815	27.8	120.9
	計	4,105,855	100.0	3,835,614	100.0	4,013,440	100.0	4,791,118	100.0	4,606,213	100.0	96.1

II 国民健康保険特別会計

本会計は、歳入歳出予算額415,750,000円に対し、次表のとおり収入済額416,666,721円、支出済額390,935,266円で、歳入歳出差引額25,731,455円と
なっており、その内25,102,444円を国保給付調整基金に繰り入れしている。支出内容は適正と認められた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は4,456,249円で、保険税の滞納繰越額は2,952,171円である。

(1) 歳入

(単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成29年度	平成28年度
1 国民健康保険税	71,340,000	79,424,024	72,015,604	4,456,249	2,952,171	90.7	88.4
2 国庫支出金	97,694,000	93,608,212	93,608,212	0	0	100.0	100.0
3 療養給付費交付金	3,369,000	2,748,000	2,748,000	0	0	100.0	100.0
4 前期高齢者交付金	68,993,000	68,994,960	68,994,960	0	0	100.0	100.0
5 道支出金	27,710,000	27,970,000	27,970,000	0	0	100.0	100.0
6 共同事業交付金	82,685,000	95,132,264	95,132,264	0	0	100.0	100.0
7 財産収入	5,000	2,591	2,591	0	0	100.0	100.0
8 繰入金	63,809,000	56,035,261	56,035,261	0	0	100.0	100.0
9 繰越金	131,000	130,816	130,816	0	0	100.0	0.0
10 諸収入	14,000	29,013	29,013	0	0	100.0	100.0
合計	415,750,000	424,075,141	416,666,721	4,456,249	2,952,171	98.3	97.9

(2) 歳出

(単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不費用額	執行額	率	
						平成29年度	平成28年度
1 総務費	44,864,000	44,389,761	0	474,239	98.9	95.8	
2 保険給付費	224,804,000	202,287,679	0	22,516,321	90.0	97.3	
3 後期高齢者支援金等	34,433,000	34,431,894	0	1,106	99.9	99.9	
4 前期高齢者納付金等	145,000	134,851	0	10,149	93.0	48.3	
5 老人保健拠出金	5,000	1,015	0	3,985	20.3	31.9	
6 介護納付金	16,276,000	16,275,966	0	34	99.9	99.9	
7 共同事業拠出金	82,688,000	82,084,137	0	603,863	99.3	99.9	
8 保健事業費	6,892,000	5,740,347	0	1,151,653	83.3	75.0	
9 基金積立金	5,000	2,591	0	2,409	51.8	17.1	
10 公債費	50,000	0	0	50,000	0.0	0.0	
11 諸支出金	5,588,000	5,587,025	0	975	99.9	99.9	
合計	415,750,000	390,935,266	0	24,814,734	94.0	97.8	

(3) 国民健康保険税の課税調

区分 年度	課税対象世帯数・被保険者数				1世帯当り及び1人当り課税額			
	当初予算		決算		当初予算		決算	
	世帯数(戸)	被保険者数(人)	世帯数(戸)	被保険者数(人)	1世帯当り(円)	1人当り(円)	1世帯当り(円)	1人当り(円)
平成29年度	450	784	474	822	148,722	85,364	148,128	85,417
平成28年度	457	793	482	867	143,066	82,448	141,681	78,766
前年対比(増減)	△7	△9	△8	△45	5,656	2,916	6,447	6,651
前年対比増減率(%)	△1.5	△1.1	△1.7	△5.2	4.0	3.5	4.6	8.4

Ⅲ 後期高齢者医療特別会計

本会計は、歳入歳出予算額43,228,000円に対し、次表のとおり収入済額42,868,299円、支出済額42,868,299円で、歳入歳出差引額0円である。歳出執行率は99.2%(前年度 99.3%)であり、支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は943,500円で、保険料の滞納繰越額は27,260円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成29年度	平成28年度
1 後期高齢者医療保険料	25,442,000	26,116,760	25,146,000	943,500	27,260	96.3	96.1
2 繰入金	17,581,000	17,501,197	17,501,197	0	0	100.0	100.0
3 繰越金	88,000	88,000	88,000	0	0	100.0	100.0
4 諸収入	117,000	133,102	133,102	0	0	100.0	100.0
合 計	43,228,000	43,839,059	42,868,299	943,500	27,260	97.8	97.7

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出額	支出済額	翌年度繰越額	不費用額	執行率	
						平成29年度	平成28年度
1 総務費	144,000		80,579	0	63,421	56.0	56.3
2 後期高齢者医療広域連合納付金	42,950,000		42,654,620	0	295,380	99.3	99.5
3 諸支出金	134,000		133,100	0	900	99.3	0.0
合 計	43,228,000		42,868,299	0	359,701	99.2	99.3

IV 簡易水道特別会計

本会計は、歳入歳出予算額246,821,000円に対し、次表のとおり収入済額245,592,906円、支出済額244,692,189円で、歳入歳出差引額900,717円を翌年度に繰越している。一般会計からの繰入金金は81,000,000円となっており、歳入の比率は使用料及び手数料38.1%(前年度44.2%)、国庫支出金7.4%(前年度5.2%)、繰入金33.0%(前年度34.9%)、繰越金1.2%(前年度1.6%)、諸収入が0.3%(前年度0.2%)、町債20.0%(前年度13.9%)となっている。

歳出執行率は99.1%(前年度97.0%)であり、支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は0円で、水道使用料の滞納繰越額は188,035円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成29年度	平成28年度
1 使用料及び手数料	92,612,000	93,680,824	93,492,789	0	188,035	99.8	99.7
2 国庫支出金	18,153,000	18,153,000	18,153,000	0	0	100.0	100.0
3 繰入金	83,113,000	81,000,000	81,000,000	0	0	100.0	100.0
4 繰越金	3,078,000	3,078,153	3,078,153	0	0	100.0	100.0
5 諸収入	665,000	668,964	668,964	0	0	100.0	100.0
6 町債	49,200,000	49,200,000	49,200,000	0	0	100.0	100.0
合計	246,821,000	245,780,941	245,592,906	0	188,035	99.9	99.8

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
					平成29年度	平成28年度
1 衛生費	152,022,000	149,995,111	0	2,026,889	98.7	95.2
2 公債費	94,799,000	94,697,078	0	101,922	99.9	99.3
合計	246,821,000	244,692,189	0	2,128,811	99.1	97.0

(3) 簡易水道事業会計における過去5カ年間の給水原価及び供給単価表 (単位:円)

種目	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	平成25年度	平成26年度			
給水原価	440.89	458.00	463.20	452.58	480.28
供給単価	257.20	258.14	259.59	259.67	259.78
差引	△ 183.69	△ 199.86	△ 203.61	△ 192.91	△ 220.50

V 下水道特別会計

本会計は、歳入歳出予算額395,565,000円に対し、次表のとおり収入済額324,678,368円、支出済額320,867,301円で、歳入歳出差引額3,811,067円を翌年度に繰越している。一般会計からの繰入金は116,093,000円となり、歳入の比率は、分担金及び負担金0.4%(前年度0.4%)、使用料及び手数料10.2%(前年度10.4%)、国庫支出金22.4%(前年度22.4%)、繰入金35.8%(前年度34.5%)、繰越金1.0%(前年度1.2%)諸収入1.9%(前年度0.0%)、町債28.3%(前年度31.1%)となっている。歳出執行率は81.1%(前年度98.6%)であり、支出内容は適正と認めた。

なお、当該年度における不納欠損処理額は10,146円で、下水道使用料の滞納繰越額は43,610円である。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成29年度	平成28年度
1 分担金及び負担金	1,323,000	1,380,000	1,380,000	0	0	100.0	100.0
2 使用料及び手数料	33,108,000	33,174,732	33,120,976	10,146	43,610	99.8	99.8
3 国庫支出金	107,788,000	72,788,220	72,788,220	0	0	100.0	100.0
4 繰入金	117,093,000	116,093,000	116,093,000	0	0	100.0	100.0
5 繰越金	3,263,000	3,263,128	3,263,128	0	0	100.0	100.0
6 諸収入	6,190,000	6,233,044	6,233,044	0	0	100.0	100.0
7 町債	126,800,000	91,800,000	91,800,000	0	0	100.0	100.0
合 計	395,565,000	324,732,124	324,678,368	10,146	43,610	99.9	99.9

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	
					平成29年度	平成28年度
1 下水道費	279,510,000	205,260,565	71,000,000	3,249,435	73.4	97.8
2 公債費	116,055,000	115,606,736	0	448,264	99.6	99.9
合 計	395,565,000	320,867,301	71,000,000	3,697,699	81.1	98.6

VI 介護保険特別会計(保険事業勘定)

保険事業勘定は、歳入歳出予算額371,354,000円に対し、次表のとおり収入済額351,644,046円、支出済額343,246,008円で、歳入歳出差引額8,398,038円となっている。歳出執行率は92.4%(前年度92.1%)であり、支出内容は適正と認めた。

なお、第1号保険者現年度分普通徴収保険料の滞納額は0円、不納欠損額0円、過年度分普通徴収保険料の滞納額は0円である。

(1) 歳入

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成29年度	平成28年度
1 保険料	57,654,000	59,033,880	59,033,880	0	0	100.0	100.0
2 国庫支出金	94,571,000	91,144,529	91,144,529	0	0	100.0	100.0
3 支払基金交付金	94,571,000	86,926,082	86,926,082	0	0	100.0	100.0
4 道支出金	52,253,000	48,145,911	48,145,911	0	0	100.0	100.0
5 財産収入	10,000	3,789	3,789	0	0	100.0	100.0
6 繰入金	59,297,000	53,399,686	53,399,686	0	0	100.0	100.0
7 繰越金	12,990,000	12,989,842	12,989,842	0	0	100.0	100.0
8 諸収入	8,000	327	327	0	0	100.0	100.0
合 計	371,354,000	351,644,046	351,644,046	0	0	100.0	100.0

(単位:円、%)

(2) 歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不費用額	執行率	
					平成29年度	平成28年度
1 総務費	15,487,000	14,479,477	0	1,007,523	93.5	92.4
2 保険給付費	322,961,000	298,228,582	0	24,732,418	92.3	93.9
3 地域支援事業費	19,731,000	17,421,236	0	2,309,764	88.3	67.0
4 基金積立金	7,492,000	7,485,161	0	6,839	99.9	99.4
5 公債費	50,000	0	0	50,000	0.0	0.0
6 諸支出金	5,633,000	5,631,552	0	1,448	99.9	99.9
合 計	371,354,000	343,246,008	0	28,107,992	92.4	92.1

(単位:円、%)

Ⅶ 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

介護サービス事業勘定は、歳入歳出予算額8,982,000円に対し、次表のとおり収入済額8,850,856円、支出済額8,553,617円で、歳入歳出差引額297,239円を翌年度に繰越している。歳出執行率は95.2%(前年度93.8%)であり、支出内容は適正と認めた。

(1) 歳入 (単位:円、%)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						平成29年度	平成28年度
1 サービス収入	944,000	1,288,200	1,288,200	0	0	100.0	100.0
2 繰入金	7,806,000	7,331,114	7,331,114	0	0	100.0	100.0
3 繰越金	231,000	231,537	231,537	0	0	100.0	100.0
4 諸収入	1,000	5	5	0	0	100.0	100.0
合 計	8,982,000	8,850,856	8,850,856	0	0	100.0	100.0

(2) 歳出 (単位:円、%)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	
					平成29年度	平成28年度
1 総務費	7,210,000	7,193,689	0	16,311	99.8	99.8
2 サービス事業費	1,640,000	1,228,814	0	411,186	74.9	71.7
3 公債費	132,000	131,114	0	886	99.3	99.3
合 計	8,982,000	8,553,617	0	428,383	95.2	93.8

6 総括

一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算は、計数に誤りがなく、証書類も整備され会計経理は概ね良好であったが、平成29年度各会計歳入歳出決算審査における指摘事項は、次の5点である。

1. 滞納整理・不納欠損について

29年度は、町税、固定資産税、国保税において、合計で1,000万円以上の不納欠損が計上されていた。多額な欠損金額ではあるが、その多くがすでに時効が完成し、徴収不能になっている債権であることから、不納欠損処分は妥当であり、むしろ時効完成のまま放置していた状況に問題があったと言える。時効完成までの徴収事務においては、債権管理簿に不備があったため、債権管理、特に時効管理において管理しきれていない状況にあったと認められる。

一方、昨年度も言及したが、徴収業務では現年分の町民税、国民健康保険税の2年連続の完納のみならず、管理状況にも改善がみられ、滞納繰越分の徴収額も向上していることについては大いに評価する。

今回の処理で、徴収不能債権を整理できたと考えるが、調査の結果、一部債権において不納欠損漏れがみられたので、次年度での適切な処理とともに早急な債権管理体制の構築を指摘した。また、債権管理は税務係だけにとどまらず、徴収業務を負う担当係全てでノウハウを共有し、画一的な執行を望むとともに、共通の債務者に関する情報の共有による効率的な徴収を望むものである。

2. 遠別農業高等学校活性化プロジェクト推進事業について

この事業において取り交わした契約について、30年度にまたがる賃貸借契約を結んでいるものがあつた。複数年度での支出を伴う契約には、債務負担行為が必須であるが、この契約においては、債務負担行為がなされておらず、また、現状では複数年契約を結ぶことができる条例、規則がないため、複数年度にわたる契約を締結することはできないと考える。ただし、複数年のリース契約が一般的な商習慣になっているケースや複数年契約がコスト的に有利になるケースなどが想定されるため、複数年契約に対応できるルール作りをすることも必要と考えるところである。

3. 起業化支援事業について

この事業が創設されて3年度目になる29年度は採択事業者も増加し、町内の起業意識を醸成し町内経済を活性化するという効果は、一定の評価をしたいが、運用していくにつれ、定められた要綱の制度的矛盾点、問題点が表面化してきたことも一方で事実である。この事業の更なる活性化を考えるに、より利用しやすく、より理解しやすく、より明確な要綱に改正すべきと考えるところである。

4. 遠別町連合町内会補助金について

12月末の連合町内会の29年度決算では、すでに減額処理されている補助金の変更が、実際には2月に変更されていて、矛盾が生じたまま完了報告が受けられていた。確認したところ、変更予定を先に計上したとのことであったが、誤った会計処理である。このような会計処理は、決して行ってはいけないものであることを担当係が指導するよう、また、正しい完了報告をもつての完了検査を徹底するよう指摘したところである。

5. 町民農園利活用促進事業について

昨年度、随意契約及び再委託に関して指摘したところであるが、この事業の再委託状況が委託金額の約90%となっており、随意契約の妥当性に疑問を感じるころであった。随意契約に関しては、選定理由を精査するよう、再度、指摘したところである。

一般会計歳入歳出決算書の財政状況指数（特に経常収支比率、公債費負担比率）及び健全化判断比率（実質公債費比率、将来負担比率）は、前年度に比べて多少の変動はあるものの良い傾向が続いている。今後においても更に経費の削減と自主財源の確保に努められたい。